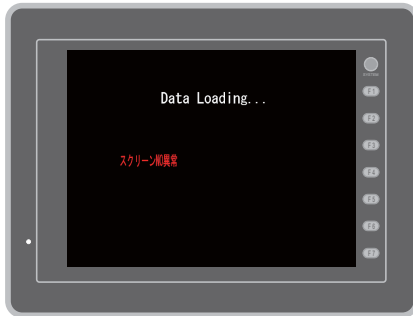


Data Loading...

RUN モード切り替え時、画面データでエラーを検出した場合、V8 シリーズ上に以下のようなメッセージを表示します。

[スクリーン No 異常] 画面



[Error: XX (XX:XXX)] 画面



エラーメッセージ	内容	対策
スクリーン No 異常	受信した No. のスクリーンが設定されていない	通信開始時、V8 シリーズは [読込エリア] n+2 に入っている値をスクリーン No. と判断して表示します。 この [読込エリア] n+2 の値が、実際に作成していないスクリーン No. になっていないか、各コントローラをチェックしてください
Error: XX (XX:XXX)	作成した画面データに誤りがあります	V8 シリーズ上に表示された項目 No と項目内 No からエラーの起きた編集画面を確認し、エラー内容 (= エラー No) を確認し、修正します。 Error: XX (XX:XXX) └── 項目内No. └── 項目No. └── エラーNo.

「Error No.」について

エラー No.

- * エラー No. に「*」が付いているエラーは通常発生しないエラーです。表示された場合には技術相談窓口までご連絡ください。

エラー No.	内容	対処方法
3	データのバージョンと本体プログラムのバージョンが合っていません。	エディタから本体プログラムを転送してください。 直らない場合は、エディタのバージョンと V8 シリーズの本体プログラムバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
10	通信ボードと I/F ドライバが一致していません。	装着してある I/F ボードと I/F ドライバが異なります。再度 I/F ドライバを確認して転送してください。
11	I/F ドライバと画面データの PLC 機種が合っていません。	PLC の機種を確認し、再度 I/F ドライバを転送してください。
12	I/F ドライバと画面データのバージョンが合っていません。	エディタのバージョンと I/F ドライバのバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
13	I/F ドライバと本体プログラムのバージョンが合っていません。	I/F ドライバのバージョンと V8 シリーズの本体プログラム (SYSTEM PROG.) バージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。

エラー No.	内容	対処方法
15	本体の表示言語と画面データの言語が一致していません。	本体機種と作成データの言語を確認後、再設定してください。
17	設定されたネットワーク I/O No が使用可能範囲を超えています。	使用可能範囲 No に再設定してください。
19	この本体で未対応の I/F ドライバが転送されています。	正しい I/F ドライバを転送してください。
20	バッファリングエリアの最大容量を超えています。	バッファリングエリア設定の [一次格納先] の [DRAM] の容量が最大容量を超えています。 [サンプリング回数] を減らしてください。
22	トレンド・アラームアイテムで指定しているバッファ No が設定されていません。	[システム設定] の [バッファリングエリア設定] で該当するバッファを再設定してください。
23*	メモ리카ードファイル No エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
24	バッファリングエリア設定の出力ファイル No が重複しているか、メモ리카ード設定がバッファリングファイルに設定されていません。	バッファリングエリア設定で [二次格納先：メモ리카ード] に設定すると、[出力ファイル No] が設定可能となります。その [出力ファイル No] を重複して設定しています。 または [二次格納先：メモ리카ード] に設定したのに、[メモ리카ード設定] において [タイプ：バッファリングファイル] に設定していません。 バッファリングエリア設定で [出力ファイル No] を確認、再設定してください。 または [メモ리카ード設定] を確認してください。
25	バッファリングエリア設定のサンプルワード数がオーバーしています。	バッファリングエリア設定の [ワード数] を確認してください。 ビット同期、定時サンプル、ビットサンプル、転送テーブル：最大 128 ワード アラーム表示、リレーサンプル：最大 1024 ワード
26	バッファリングエリアを参照しているトレンド・アラームアイテムが多すぎます。	1 スクリーン上に、バッファリングエリアを参照しているアイテムが多すぎます。(最大 16 アイテムまで。) 画面上のトレンド・アラームアイテムを減らしてください。
27*	バッファリングエリア設定にエラーがあります。	技術相談窓口までご連絡ください。
28	モジュージャック 1 と 2 が同じ機能設定になっています。	[接続機器設定] を確認後、再設定してください。
29	メモリ容量が不足しています。	バッファリングエリア設定の [一次格納先] の [DRAM] の [サンプリング回数] を減らしてください。 アラームアイテムの [ワード数] を減らしてください。 また、不要であれば、以下の設定を削除してください。 ・マルチリンク / マルチリンク 2 ・ラダーモニタ ・使っていない接続機器 上記対処方法でも直らない場合は、技術相談窓口までご連絡ください。
30	登録してあるアイテム数が多すぎます。	アイテムを減らしてください。
31	登録アイテム用のメモリ容量が不足しています。	対象スクリーンに対して、以下の対処を行ってください。 リレーサンプリングの [ワード数] を減らしてください。 アラーム表示の [ワード数] を減らしてください。 リレーの [実行リレー数] を減らしてください。 画面上のアイテムを減らしてください。

エラー No.	内容	対処方法
32	メモリを使用するアイテム数が規定数を超過しています。	アイテムを減らしてください。
33	スイッチまたはランプが設定可能最大数を超過しています。	スクリーンに設定されたスイッチまたはランプが1024個を超えています。オーバーラップ上のスイッチまたはランプも数に含まれます。スイッチまたはランプの数を減らしてください。
34	メモリを使用するアイテムがワークメモリの規定量を超過しています。	データを減らしてください。
35*	可変長データエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
36*	項目 ITEM エラー	
37*	コンポーネント内項目 ITEM エラー	
38*	コンポーネントエラー	
40*	グループバイトカウントエラー	
41*	認識フラグエラー	
42*	機能 ITEM エラー	
43*	機能 ITEM エンドエラー	
44*	グループ ITEM エンドエラー	
46	使用できないメモリを設定しているか、設定可能なメモリ範囲をオーバーしています。	設定したメモリを確認してください。
47	スクリーン LIB 上の、設定制限のあるアイテムの ID が、スクリーン上で重複しています。	ID が重複しないように設定を確認してください。
48	Ethernet 自局 IP アドレスで設定したネットワークテーブル No が、PLC のネットワークテーブル No と重複しています。	ネットワークテーブル No を確認、再設定してください。
49*	グループ ITEM エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
50*	リンク ITEM エラー	
51*	エディタ ITEM エラー	
52	オーバーラップ ID が「0 ~ 2」以外の異常な値になっています。	オーバーラップ ID を確認、再設定してください。
53	コールオーバーラップ設定で、データが登録されていないオーバーラップライブラリ No を設定しています。	オーバーラップライブラリ編集で登録してある [オーバーラップ No] を設定してください。
54	オーバーラップの使用メモリ容量が大きすぎます。	オーバーラップのサイズを小さくしてください。
55*	マルチオーバーラップヘッダエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
56*	グラフィック未定義コマンドエラー	
57*	グラフィック ITEM エラー	
58*	グラフィック実行エラー	
59*	スイッチ機能エラー	
60	スイッチの動作領域に誤りがあります。	スイッチの動作領域を再設定してください。
61*	統計グラフ % 表示 No オーバー	技術相談窓口までご連絡ください。
62*	マルチデータオーバー	
63	データブロック (最大 4 カ所作成可) の選択順 No が重複しています。	データブロックの選択順 No を確認、再設定してください。
64*	データ表示エレメント No エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
65	トレンドグラフ、トレンドサンプリングの設定において、スケールまたはグラフが正しく設定されていません。	ダイアログの [スケール最大値]・[スケール最小値] もしくは [グラフ最大値]・[グラフ最小値] 項目を正しく設定してください。

エラー No.	内容	対処方法
66*	内円の半径が0です。	技術相談窓口までご連絡ください。
67*	横軸ポイント数が ≤ 0 です	
68	1 リレー (1 ビット) で表示する行数分の表示領域が確保されていません。	[リレー]ビューで設定した[1 リレー行数]項目を確認し、表示領域を拡大してください。
69	画面より大きいパターンまたはフレームを設定しています。	パターンまたはフレームを再設定してください。
70	帳票の列または行がオーバーしています。	帳票の列 / 行を確認し、再設定してください。
71	閉領域グラフのパーツが最大値を超えています。	閉領域グラフのパーツが64 Kバイトを超えています。 パーツのサイズを小さくしてください。
72	ビットサンプリングのリアルタイム印刷の設定が上限を超えているか、または指定されたバッファ No が重複しています。	ビットサンプリングの[<input checked="" type="checkbox"/> リアルタイム印刷]の設定が4個を超えています。または同じ[バッファ No]を設定した[<input checked="" type="checkbox"/> リアルタイム印刷]指定のビットサンプリングが2個以上あります。 制限に従って[<input checked="" type="checkbox"/> リアルタイム印刷]の設定を行ってください。解決しない場合は、エディタのバージョンと、V8シリーズの本体プログラム (SYSTEM PROG.) バージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
73	ビデオアイテムが1スクリーンに4個以上あります。(スクリーンライブラリも含む)	ビデオアイテムの設定数を確認し、減らしてください。
74	アニメーションアイテムをベース画面以外(スクリーンライブラリ等)に配置していません。	アニメーションアイテムはベース画面に設定してください。
75	画面データの機種が異なります。	エディタからV8シリーズの本体プログラムを転送してください。
76	リレーの実行リレー数がオーバーしています。	[実行リレー数]を確認してください。 汎用シリアル: 最大 4096 その他 PLC: 最大 512
77*	拡張グラフィック ITEM エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
78*	拡張機能 ITEM エラー	
79	コンポーネントパーツの使用メモリ容量が大きすぎます。	コンポーネントパーツ数を減らしてください。
80*	マクロ: 未定義コマンドエラーです。	技術相談窓口までご連絡ください。
81	マクロ: FOR - NEXT 命令の数が異なります。または FOR - NEXT 命令のネスティングが8回を超えています。	FOR - NEXT 命令を修正してください。
82	マクロ: 同じラベル No のコマンドがあります。	マクロ: ラベルを再設定してください。
83	マクロ: ジャンプ先のラベルがありません。	マクロ: ジャンプ先ラベルを変更またはラベルを設定してください。
84*	マクロ: メモリ不正使用です。	マクロを変更してください。
85*	マクロ: 未定義システムコールです。	技術相談窓口までご連絡ください。
90	登録されていないスクリーンライブラリを使用しています。	スクリーンライブラリの No を確認してください。
91	スイッチまたはランプのビットマップが未登録です。	以下の項目を確認してください。 ビットマップ名の指定がない。 3D パーツの使用数が1023 (最大) を超えている。 パーツのサイズが大きすぎる。 「PARTS」フォルダ内にビットマップが存在しない。
92*	多言語初期表示文字列 No エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
94	多言語切替文字列数エラー	

エラー No.	内容	対処方法
95	MR400 フォーマットテーブル設定：文字列コードエラーです。	文字列中で「¥」の後に不当なコードがあります。
96	MR400 フォーマットテーブル設定：文字列サイズエラーです。	文字列のトータルサイズが大きすぎます。
97	多言語フォント設定エラー	第1言語のフォントの再転送するか、画面データを再転送してください。
99	登録項目の使用メモリ容量が大きすぎます。	登録項目の登録数を減らしてください。
100	汎用シリアル：入力モードがGD-80互換になっています。	入力モードのGD-80互換のチェックをはずしてください。
101	汎用シリアル：システムメモリ設定エラーです。	マクロの間接指定などで、範囲外のメモリにアクセスしていないか確認してください。
102*	接続形式設定エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
103*	ネットワーク I / O サイズ設定エラー	
104*	ネットワークテーブル設定エラー	
120	モジュージャック 1 または 2 にマルチリンク 2 を選択していません。	マルチリンク 2 の詳細設定で、接続先ポートを確認してください。
121	マルチリンク 2 の局番異常です。自局番または総数の値が 1 ~ 4 を超えています。	マルチリンク 2 の詳細設定で、[自局番]または[総数]の値が [1] ~ [4] を超えています。[自局番]または[総数]の値を [1] ~ [4] に設定してください。
122	マルチリンクプログラムが未登録です。	マルチリンクプログラムを転送してください。
123	マルチリンク 2 プログラムが未登録です。	
127	本体はリモートデスクトップ機能をサポートしていません。	本体がリモートデスクトップ使用可能な機種か、確認してください。使用不可の場合は、設定を削除してください。
128	本体にリモートデスクトップのキーコードが設定されていません。 Ver.5.4.13.0 以前 (SYSTEM PROG Ver. 1.560)	[メイン] 画面から、リモートデスクトップのライセンスキーコードを設定してください。
129	本体にリモートデスクトッププログラムが未登録です。	V-SFT のバージョンアップを行い、画面データを再転送してください。 CF カード転送の場合、CF カードマネージャを使用して、書き込みし直す必要があります。
130*	Ethernet：ネットワークバイトエラーです。	技術相談窓口までご連絡ください。
131	Ethernet：自局のテーブルが設定されていません。	本体のメインメニュー上で局番を確認の上、ネットワークテーブル編集で自局が設定されているか確認してください。
132	Ethernet：ネットワークテーブルがない、または異なっています。	[接続機器設定]→[接続先設定]→[PLC テーブル]の設定をしてください。
133	Ethernet：IP アドレス No 異常です。	ネットワークテーブル編集または、PLC テーブルの IP アドレスの設定を確認してください。
134	Ethernet：ポート No 異常です。	ネットワークテーブル編集または、PLC テーブルのポート No の設定を確認してください。
135	FL-net：FL-net データ異常です。	[接続機器設定]の [FL-Net] の設定を確認してください。
136	IP アドレス設定異常：自局 IP アドレスで選択したネットワークテーブル No が登録されていません。	ネットワークテーブル設定内容を確認してください。
137	I/F ドライバの Ethernet ポート No の値が重複しています。	他の I/F ドライバのポート No. と異なる値に設定してください。
138	リモートデスクトップテーブルが登録されていません。	指定した No. のリモートデスクトップテーブルを登録してください。
139	リモートデスクトップテーブルの設定値が不正です。	リモートデスクトップテーブルの設定を再度確認してください。(未登録のリモートデスクトップテーブル No. を指定していないか等)

エラー No.	内容	対処方法
140	本体の I/F ドライバと本体プログラムのバージョンが合っていない。	本体プログラム (SYSTEM PROG.) のバージョンが接続機器の対応バージョンかどうかを確認し、本体プログラムのバージョンアップをしてください。
141*	マルチリンク 2 の設定があります。	技術相談窓口までご連絡ください。
142	I/F ドライバ未登録	I/F ドライバを転送してください。 または、アイテムのメモリを確認してください。
143	バッファリングエリア設定の [転送テーブル] が未設定です。	転送テーブルの設定を確認し、設定してください。
145	バッファリングエリア設定の [転送テーブル] の設定 No. が重複しています。	バッファリングエリア設定で [転送テーブル] の No. が重複していないか確認し、再設定してください。
146*	転送テーブル内の設定メモリ数が異常です。	技術相談窓口までご連絡ください。
150	ラダーモニタプログラムが未登録です。	ラダーモニタプログラム (.ldpA) を転送してください。
151	ラダーモニタプログラム機種不一致	接続先の PLC 機種を確認し、再度画面データを転送してください。
152	ラダーモニタプログラム未対応言語	本体機種と画面データの言語を確認し、再設定してください。
155	FROM のデータが未登録です。	エディタの [システム設定] → [本体設定] → [環境設定] で「 <input checked="" type="checkbox"/> 内部フラッシュロムをバックアップ領域として使用する」に設定しているのに default.dtm ファイルが転送されていません。 または、接続機器設定で「 <input checked="" type="checkbox"/> 局番テーブルを使用する」に設定しているのに局番テーブルがありません。 チェックありの場合、チェックなしの場合と比べてローカルメイン画面の画面データ容量が 128kbyte 少なくなります。確認してください。 チェックあり / なし どちらも同じ容量の場合、技術相談窓口までご連絡ください。
156	「バックアップ領域」と「局番テーブル」は併用できません	エディタの [システム設定] → [本体設定] → [環境設定] で「 <input checked="" type="checkbox"/> 内部フラッシュロムをバックアップ領域として使用する」と、[接続機器設定] の [通信設定] で「 <input checked="" type="checkbox"/> 局番テーブルを使用する」にチェックがついています。 両方の機能を同時に使用できません。どちらか一方のチェックをはずして再度画面転送してください。
157	局番テーブルの局番が重複しています。	マクロ「FROM_WR」による局番テーブルの書換は、局番が重複しないように設定してください。
158	ラダーモニタプログラムの設定機種とラダーデータの機種が違います。	正しい機種のラダーデータ (.ldmA) を転送してください。
159	PLC のラダーデータが不正です。	ラダーデータ (.ldmA) を再転送してください。
160	SRAM 領域の合計サイズが使用範囲を超えています。	[SRAM / 時計設定] を確認してください。
161	SRAM 領域がフォーマットされていません。	メインメニューの「SRAM / 時計」画面でフォーマットを行ってください。 電池電圧が低下していないか確認してください。
162	SRAM 領域のデータと本体プログラムのバージョンが合っていない。	本体プログラムのバージョンを確認後、技術相談窓口までご連絡ください。
163	SRAM / 時計と SRAM 領域のフォーマットが合っていない。	メインメニューの「SRAM / 時計」画面でフォーマットを行ってください。

エラー No.	内容	対処方法
164	シミュレータプログラムと本体プログラムの Ver が合っていない。	本体プログラムとシミュレータプログラムの対応バージョンを確認してください。
165	転送テーブルが使用できない機種に転送テーブルデータが登録されています。	転送テーブルを削除してください。
166	シリアルポートに設定している機能が重複しています。	<p>Error : 166 (0 : x)</p> <p style="margin-left: 100px;">└── 項目内 No.</p> <p>項目内 No. が以下の意味になります。</p> <p>0 : CN1 1 : MJ1 2 : MJ2</p> <p>ポートに重複した機能（シミュレータ等）を設定しないようにしてください。</p>
170	本体内にラダー通信プログラムが存在しません。	[接続機器設定]で[ラダー転送機能]を選択しているのに、V8 シリーズ内にラダー通信プログラムが存在しません。 「ラダー転送」を行わない場合、[ラダー転送を使用する]のチェックを外してください。 「ラダー転送」を行う場合、ラダー通信プログラムを本体へ転送します。
171	画面データで設定した PLC の機種とラダー通信プログラムの機種が一致していません。	画面データで設定した PLC の機種のラダー通信プログラムを転送してください。
172	本体にラダー通信プログラムが格納されていません。	[接続機器設定]で[ラダー転送機能]を選択していないのに、本体にラダー通信プログラムが格納されています。 [ラダー転送機能]を設定してください。
173	接続機器設定でラダー転送機能が設定されていますが、通信設定の接続形式が 1 : 1 以外に設定されています。	「ラダー転送機能」は 1 : 1 のみ対応です。 「ラダー転送」を行わない場合は [ラダー転送を使用する]のチェックを外してください。 「ラダー転送」を行う場合は [通信設定]の [接続形式]を [1 : 1]にしてください。
174	ラダー通信未対応の I/F ドライバが設定されています。	ラダー通信に対応している I/F ドライバか確認してください。
175	(V808CH のみ) 本体はラダー通信機能をサポートしていません。	ラダー通信の設定を確認してください。
183	プリンタ機種が違います。	画面データで設定した機種のプリンタドライバを転送してください。
184	プリンタドライバがありません。	プリンタドライバを転送してください。
185	(V806 のみ) オプションユニットが装着されていません。	エディタの [システム設定] → [編集機種選択] において [オプションユニット] の設定を確認し、オプションユニット「DU-10」を装着してください。
186	(V806 のみ) オプションユニットが装着されていません。	オプションユニット「DU-10」を装着し直してください。
187	バッファリングエリア設定で指定された [転送テーブル] の No が、定期書込または同期書込で設定されています。	転送テーブルの内容を確認してください。
188	定期書込または同期書込に設定してある転送テーブル No 内で、同じメモリに書き込む指定をしています。	転送テーブルの内容を確認してください。
189	本体に日本語変換プログラムが未登録です。	日本語変換プログラムを転送してください。
192*	I/F ドライバ設定エラー	技術相談窓口までご連絡ください。
193*	帳票共通設定が未登録です。	
194*	メモリカード設定が未登録です。	
195*	VIO 入出力メモリが未登録です。	

エラー No.	内容	対処方法
196	CF に格納されたデータが違います。	CF カードへのデータ（スクリーン、3D パーツ等）格納機能を使った場合に起きる可能性があります。 CF カードマネージャを使用し、正しくデータを格納した CF カードを挿してください。
197	(V808CH のみ) TB2 は RS-232C 固定のポートです。	画面データで設定したポート設定を確認してください。
198	(V808CH のみ) TB3 は RS-422-RS-485 固定のポートです。	画面データで設定したポート設定を確認してください。
199	USB ポートに設定している機能が重複しています。	USB-B ポートの機能が重複しています。 USB-B ポートには、USB シミュレータ /PictBridge プリンタ /USB ラダー通信機能のいずれかのみを設定してください。
201*	トータルバイトカウントエラー	技術相談窓口までご連絡ください。
202	タッチスイッチの設定が違います	使用する本体に合った [タッチスイッチ] タイプを選択してください。
203	マトリックススイッチタイプでは使用できないメモ帳機能が存在します。	アイテム（＝メモ帳）の設定を削除してください。
204	画面データで設定された手動設定フォントが転送されていません。	画面データで設定された手動設定フォントが転送されていません。自動設定フォントに該当する文字列ならば正常に表示しますが、存在しない文字列の場合は、12 ポイントフォントで仮表示します。 「手動フォント設定」を確認し、画面データを再転送してください。
206	音声ユニットが装着されていません。	オプションユニット「GU-xx」を装着してください。
207	ビデオユニットが装着されていません。	オプションユニット「GU-00」または「GU-10」を装着してください。
208	ゲートウェイの設定がありません。	E-Mail 機能を使用する場合は必ずネットワークテーブル（Ethernet）でゲートウェイの設定を行ってください。
209	PLC のラダーデータが未登録です。	ラダーデータ（.ldm.a）を転送してください。
214	本体にリモートデスクトップのキーコードが設定されていません。 Ver.5.4.14.0 以降（SYSTEM PROG Ver.1.570）	[メイン] 画面から、リモートデスクトップのライセンスキーコードを設定してください。
215	SRAM 領域が使用されています。電池を接続してください。	[SRAM/時計設定] で SRAM を使用する設定になっているのに、電池が接続されていません。本体背面にオプション電池（V7-BT）を接続してください。
216	帳票上に印刷できないアイテムが配置されています。	帳票画面を確認してください。使用不可のパーツは削除してください。

項目 No.

項目 No はエラーを検出した編集画面または場所を示します。

- 0 : ヘッダ
- 1 : ネットテーブル
- 2 : バッファリングエリア
- 3 : バーコード
- 4 : メモリカード
- 5 : 外字 16
- 6 : 外字 32
- 7 : メッセージグループ
- 8 : ドットパターン
- 9 : グラフィックライブラリ

- 10 : ページブロック
- 11 : ダイレクトブロック
- 12 : スクリーンブロック
- 13 : マクロブロック
- 14 : データブロック
- 15 : 帳票ページ
- 16 : マルチオーバーラップ
- 17 : スクリーン
- 18 : ファンクションスイッチ
- 19 : スクリーンライブラリ
- 20 : 拡張データ
- 21 : 転送テーブル
- 22 : 拡張フォント
- 23 : アラームマスクデータ
- 24 : SRAM
- 25 : ビットマップエリア
- 26 : CF アトリビュート
- 27 : プリントフォーマット
- 28 : タグテーブル
- 29 : スレーブ通信メモリテーブル
- 30 : WAV ファイルテーブル
- 31 : JPEG テーブル
- 32 : アニメーションテーブル
- 33 : コメントテーブル
- 34 : Windows フォントテーブル
- 35 : Windows フォントテーブル (メッセージ)
- 36 : Windows フォントテーブル (文字列)
- 37 : 拡張メッセージ、コメントテーブル
- 50 : I/F ドライバ
- 52 : リモートデスクトップテーブル
- 70 : オプションドライバなし
- 90 : RUN 中エラー検出

項目内 No.

項目内 No. はエラーを検出した画面の No. を示します。

- バッファリングエリアの場合 : -1 = 共通項目、0 ~ 11 = バッファ No.
- メッセージの場合 : メッセージグループ No.
- グラフィックライブラリの場合はライブラリのリニア No. を表示します。
グラフィックグループ No. × 256 + グループ内 No.
- 転送テーブルの場合 : xyy (x = PLC1 ~ 8、yy = テーブル No.)
- I/F ドライバの場合 : 1 ~ 8 = PLC1 ~ 8、9 = シミュレータ